

だい ぶ かだい  
第5部 課題

この用紙は、大会当日使用しますので、必ずご持参ください。

だい かい  
第15回

まいにち にゅうりよく  
毎日パソコン入力コンクール

がつたいかい  
6月大会

か だい  
【課題】

だい ぶ わぶん しょうがくせいとい ちゅうがくねん  
第5部 和文A 小学生低・中学年

ことわざ・慣用句①

せいげんじかん ぶん  
制限時間5分

とうじつ ちゅういじこう  
【コンクール当日の注意事項】

- この用紙を拡大・修飾などして、当日使用しても問題ありません。
- 団体責任者の指示にしたがい、18桁の参加番号を半角数字で入力してください。
- 課題の入力はすべて全角文字でおこなってください。スペースと改行も字数に数えます。ただし最終行はのぞきます。

さんこうぶんけん しょうがくかん かんようく じてん もじすう じていど  
※参考文献：小学館 慣用句びっくりことば事典（文字数1,400字程度）

かだいぶんしょう きんそくもじ  
〈課題文章の禁則文字について〉

まいにち にゅうりよく  
毎日パソコン入力コンクールでは、引用した文章を原文のままソフトに取り込んでい  
るため、行頭、行末に禁則文字が来る場合があります。課題文章のPDFファイルど  
おりに入力すると正解になります。

しゅさい  
主催

まいにちしんぶんしゃ  
毎日新聞社

いっばんしゃだんほうじん  
一般社団法人

にほん のうりよくけんていいいんかい  
日本パソコン能力検定委員会

こうえん  
後援


そうむしょう  
総務省


もんぶかがくしょう  
文部科学省


こうせいろうどうしょう  
厚生労働省


けいざいさんぎょうしょう  
経済産業省ほか


ぎょう じづめ ぶんしょう にゅうりょく  
1行28字詰で、つぎの文章を入力してください。


※  の箇所かしよ かいぎょうで改行 (Enter) してください。


れきしはくり返す 


そなえあればうれいなし 


わらう門かどには福ふく来きたる 


馬うまの耳みみにねんぶつ 


頭あたまかくしてしりかくさず 


きつねとたぬき 


へそで茶ちやをわかす 


おににかなぼう 


ねこに小こばん 


るいは友ともをよぶ 


こいのたきのぼり 


さるも木きからおちる 


てんさいはわすれたころにやってくる 


まな板いたのこい 


のこりものには福ふくがある 


立つ鳥とりあとをにごさず 


にがした魚さかなは大きい 


目は口くちほどにものを言う 


親したしきなかにもれいぎあり 


えびでたいをつる 


ふくろのねずみ 


花はなよりだんご 


身みから出でたさび 


ぬかにくぎ 


ゆだんたいてき 


かえるの子こはかえる 


つるのひとこえ一声 

病やまいは気きから 

ちりもつもれば山やまとなる 

人ひとのふり見みてわがふり直なおせ 

すずめのなみだ 

くさいものにふたをする 

おかし  
昔とったきねづか

せいではことをしそんじる

とんびにあぶらあげをさらわれる

ももくり三年かき八年

ほねおりぞんのくたびれもうけ

らいねん  
来年のことを言えばおにがわらう

ろくじゅう てなら  
六十の手習い

なきつつらにはち

よいっばりの朝ねぼう

りょうやくは口にながし

いし うえ さんねん  
石の上にも三年

けんえんのなか

め

目を通す

か もの ひとつお み  
書き物など一通りざっと見る。

ちち まえ しんぶん め とお  
父はしゅっきん前、かならず新聞に目を通す。

あし

足がぼうになる

ある た あし  
歩いたり、立ったりしつづけていたので、足がひどくつかれる。

さんぼずきの父についていったら、足がぼうになってしまった。

くち

口がかたい

い  
たにんに言ってはいけないことは、ぜったい言わない。

くち なん  
あなたは口がかたいから、何でもそうだんできる。

はな

花をもたせる

て て  
わざとまけてやったり、手がらをあい手にゆずってやったりする。

きょう あね  
ゲームで、いつもぼくがまけているものだから、今日は姉がぼくに花をもたせてくれたようだ。

はな

めが出る

木や草がめばえる。しごとやはたらきが、せけんにみとめられはじめる。

サッカーのしあいで、やっとめが出て、ゆうしょうした。

のどから手が出る

とてもほしくてたまらないきもち。  
お金がたまったので、のどから手が出るほどほしかったゲームを買おう。

むねがすく

気にかかっていたことがなくなる。  
わるものをつぎからつぎへとやっつける、しゅじんこうのむねがすくようなかつやくにみんなよろこんだ。

心をくたく

あれこれと気を使ってくしんしたり、心配したりする。  
げいじゅつかは、よい作品をつくろうと心をくたく。

一石をとうじる

もんだいをなげかける。  
運動場の使い方についての、かのじょの意見は話し合いに一石をとうじた

気が気でない

心配でじっとしてられない。  
かみなりが鳴ると、今にも落ちはしないかと気が気でない。

目をうばわれる

目をひきつけられるほど、すばらしい。  
五月のわかばは、目をうばわれるほどあざやかだ。

ふでが立つ

ぶんしょうをか書くことがじょうず上手である。☞

あね姉はたふでが立つので、しょうらいはさっか作家になりたいと言いっている。☞

☞

みみ耳をかたむける ☞

いっしょう一生けんめいに、ちゅういしてき聞こうとする。☞

あき秋の夜は、むし虫のなきこえ声にみみ耳をかたむける。☞

☞

いばらのみち道 ☞

とげのあるいばらのは生えているみち道のように、くるしみやこん  
なんのおお多いにんげん人間のいっしょう一生のたとえ。☞

そばはなが長いいばらのみち道をのりこえて、じぶん自分でこうふくをつか  
んだ。☞

☞

みちくさ道草をく食う ☞

よこみちてにそれてま手間どる。とちゅうでじかんおだな時間をついや  
す。☞

ともだちみちくさのおしゃべりでく道草を食っていたら、れっしゃの  
はっしゃこくじこくにおくれてしまった。☞

☞

め目がこえる ☞

いろいろなもの物をみて、いい悪いのわる区別くべつがわ分かるようになる。☞

きもの着物のことは、目がこえているめ祖母そぼにえら選んでもらうとよい。☞

☞

はがたたない ☞

あいてとのちから力がちがいすぎて、とてもかなわない。☞

きょう今日のテストはとてもおむずかしくて、はがたたなかった。☞

☞

かみなりをおとす ☞

かみなりがな鳴るようなおおこえ大声でどなりしかる。☞

まどガラスをわったら、おじさんにかみなりをおとされた。